

土砂災害
に関する

出前授業



現状

- 土砂災害 激甚化・広域化
- 防災施設の相対的な機能低下
- 国土の多くが山地で高い災害リスク
- 地球温暖化・気候変動の影響
- 人口減少・少子高齢化の進展

基本的方針

主体的な
リスク対応行動

**自らの命は
自らが守る**

- 日ごろから防災意識の醸成と正しい理解
- 緊急時の情報活用と適切な災害対応
- 住民、地域が主体となった防災対応の確保

大事な命を守るために

日ごろから 防災啓発と備えの充実

防災啓発

- ✓ 出前授業 (教材・模型学習、現場見学 etc.)
- ✓ 研修、セミナー などの防災活動

体制強化

- ✓ 避難訓練
- ✓ 情報伝達訓練
- ✓ ハザードマップ
- ✓ 避難確保計画 などの実用・作成支援

緊急時にも 避難を促す情報提供

情報発信

- ✓ 土砂災害 警戒区域
- ✓ 土砂災害 危険度分布 などの情報提供

正しい理解と活用を 正しい理解と活用を 正しい理解と活用を

山形県 土砂災害 警戒システム

『どこが、いつ』 危ないが加って大丈夫

山形県 土砂災害 警戒システム

山形県 土砂災害 警戒システム

山形県 土砂災害 警戒システム

出前授業の実施状況

単位：学校、()内は児童・生徒数 ※一部概数含む

H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
1(115)	1(12)	1(23)	2(293)	1(152)	1(20)	1(36)
R01	R02	R03	R04	R05	R06	合計
3(193)	2(64)	3(136)	8(549)	5(807)	7(339)	18(2,739)

令和5年度：南陽市立荻小学校、村山市立富本小学校、寒河江市立白岩小学校、長井市立西根小学校
山形市立滝山小学校

令和6年度：尾花沢市立常盤小学校、新庄市立本合海小学校、朝日町立西五百川小学校、
天童市立天童南部小学校、山形市立蔵王第一小学校、山形市立滝山小学校、
河北町立谷地西部小学校

1.1 土砂災害の特徴とソフト対策

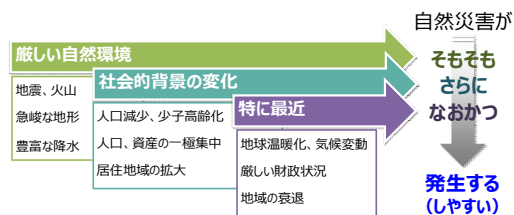
また、土砂災害は、浸水害等と比較して突発的で人的被害が発生しやすいといった特徴があります。

しかし昨今、少子高齢化の進展や人口や資産の一極集中など社会的構造の変化を受け、発災時における避難行動の難化、複雑化など、災害リスクは上昇傾向にあります。さらに、地球温暖化に伴う気候変動の影響から雨の降り方の局地化・激甚化に起因して、現行の施設能力を上回る災害外力がもたらす相対的な施設能力の低下などによって全国各地で甚大な被害が頻発しています。

ソフト対策は、行政だけの取り組みでは効果を発揮しません。緊急時において主体的に災害対応行動を確保するためには、平常時から地域や住民が災害リスクや防災情報に関する正しい理解があるからこそ、いざという時に有効な情報として活用することができます。したがって、ソフト対策は、行政と地域が一体となって、日ごろから着実に推進していかなければならない取り組みで一層の強化が望まれる施策です。

中央防災会議の提言では、目指す社会として住民が『自らの命は自らが守る』意識を持って自らの判断で避難行動をとること等が示されています。また、そうした住民主体の防災社会の構築に向け、学校等と連携した防災教育の充実が求められています。

土砂災害は学校等での活動以外の時にも起こりうるものであり、子どもから家庭、さらに地域へ防災対策の普及啓発を図るためのきっかけづくりとして、出前授業などを活用していただくことで地域防災力の向上によりいっそう大きな効果を発揮します。



■ 土石流（砂防） ・集中豪雨等により大量の土砂が一気に流下 ・速度が速く、一瞬にして人家等が壊滅		被害例（高尾全橋）	対策例（砂防受人堰）
■ 地すべり ・地下水の影響と重力によりゆっくり地面が移動 ・移動土塊量が大きく被害が広範囲		被害例（河津国庫）	対策例（地下水排除）
■ がけ崩れ ・雨や地震等の影響で急激にがけ崩れが発生 ・人家付近で発生すれば人的被害につながる		被害例（建物全壊）	対策例（法枠工）

[illegible]

- 2 -

2. 土砂災害に関する出前授業

2.1 出前授業による防災学習



テキストや動画などを使って土砂災害の特徴や防災に関する取組みなどを紹介します。



模型に触れながら土砂災害の発生メカニズムや砂防施設の働きや効果などを説明します。実際に動かしながら、よりいっそう理解を深めていただくことができます。



学校の周辺状況や各市町村の防災対策、その他ご要望などを踏まえ、個別にテキストやスケジュールを作成します。テキストなどの電子データも提供しますので出前授業以降の二次利用も可能です。

出前授業の様子

2.2 子ども達の感想

子ども達の感想からは出前授業を通じ、日ごろから正しく備えておくことの大切さを感じていただけたことが伺えます。

- ・土砂災害がとても危険だということがわかった。
- ・土砂災害が起きてから逃げるのは遅いから、日頃からの準備が大切だとわかった。
- ・土砂災害の前ぶれに気づくためにも、正しく理解しておかなければならないと思った。
- ・避難の時は助け合うことが大事だとわかった。
- ・日頃から災害に注意しているからこそ、災害は起きにくいし、起きてても防げるのだと思う。



2.3 取組み内容

学校や学区内における災害リスクなど地域特性のほか、参加人数や時間的な制約などの様々な条件に合わせ個別に実施する内容を決めています。主な取組みとして次のようなことを行っています。

教材学習	動画学習
	
模型学習	現場見学
	
避難訓練	情報伝達訓練
	

避難訓練や情報伝達訓練を行う際は、市町村の防災担当課など関係機関との連携も重要です。出前授業を開催する当日の対応だけでなく、開催に向けた調整や準備等のご支援もいたします。

ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

(令和7年8月作成)
山形県 県土整備部 砂防・災害対策課
砂防企画担当 023-630-2225